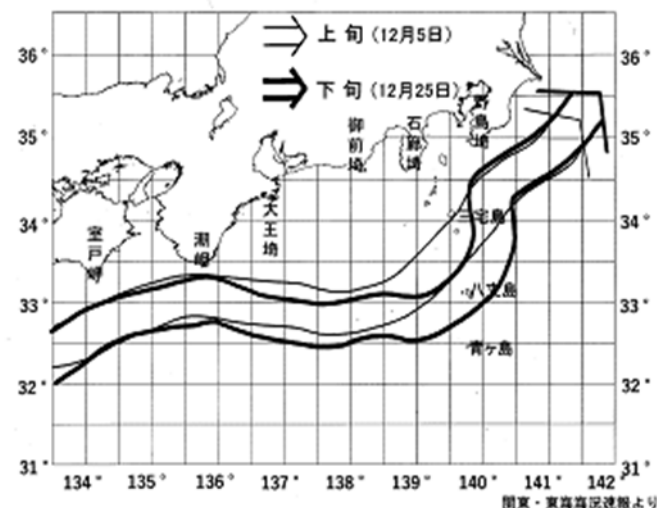




令和7年12月1日
No. 12 ～12月31日
静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



12月定地水温の旬平均値(℃) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.0	19.2	19.1	18.4	17.7	17.7
	1.1	0.7	0.9	0.2	-0.4	-0.3
中旬	17.2	17.1	17.0	17.5	17.1	17.4
	0.3	-0.5	-0.3	0.3	0.1	0.5
下旬	17.5	17.2	17.1	16.7	16.4	17.0
	1.3	0.5	0.5	0.3	0.2	0.6
月	17.9	17.8	17.8	17.5	17.1	17.3
	0.9	0.2	0.3	0.3	-0.1	0.2

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

12月上旬はB型で、御前崎沖で離岸した後に八丈島の北側を通過しながら北上し、中～下旬は遠州灘沖から石廊崎沖にかけて離岸した後に八丈島を通過しながら北上するC型の流路となった。

上旬は潮岬沖から東進し、御前崎沖33.0°N付近から八丈島の北側を通過して北東に流去した。暖水波及が黒潮北縁から石廊崎、野島崎に向けて見られた。

中旬からC型流路となり、潮岬沖から東進し石廊崎沖33.5°N付近から八丈島と三宅島を通過しながら34.5°付近まで北上し、その後北東に流去した。暖水波及が野島崎沖の黒潮屈曲部から石廊崎に

向けて見られた。

下旬もC型流路が継続し、遠州灘沖33.0°付近から石廊崎沖まで東進した後、八丈島を通過しながら三宅島の東側34.5°付近まで北上し、北東に流去した。暖水波及が野島崎沖の黒潮屈強部から野島崎に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は雲見、沼津、焼津で「平年並」、伊東、稲取、下田で「やや高め」であった。中旬は稲取で「やや低め」、伊東、下田、雲見、沼津で「平年並」、焼津で「やや高め」であった。下旬は雲見、沼津で「平年並」、伊東、稲取、下田、焼津で「やや高め」であった。

【竿釣カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月水揚げなし)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	平均水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
R7年 12月上旬	-	-	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
R7年 12月計	-	-	-	-
R6年 12月計	-	-	-	-
R5年 12月計	0.8	1	0.8	975

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は134.0トンで、前年(149.7トン)の89%、平年(281.7トン)の48%であった。また、1か統当たりの水揚量は19.1トン(前年:21.4トン、平年:40.2トン)であった。水揚量の多い漁場は、川奈漁場(35.6トン、メアジ、さば類、クロマグロ)、次いで伊豆山漁場(31.3トン、メアジ、さば類、イサキ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、メアジは31.2トン、前年比2.4倍、平年比5.3倍で、昭和62年以降、最も水揚量が多かった。さば類は29.6トン、前年比83%、平年比40%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは3.5トン、前年比1.1倍、平年比75%、ゴマサバは24.6トン、前年比76%、平年比35%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は1.5トン、平年比95%(前年は水揚げ無し)であった。メアジは15.8トン、前年比3.6倍、平年比1.3倍であった。スルメイカは10.6トン、前年比1.0倍、平年比35%であった。イサキは8.4トン、前年比1.9倍、平年比3.0倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、メアジでは川奈漁場が66%(20.8トン)、さば類では北川が42%(12.4トン)、伊豆山が18%(5.2トン)、川奈が15%(4.3トン)、メアジでは伊豆山漁場が43%(6.7トン)、古網漁場が22%(3.5トン)、北川漁場が18%(2.8トン)、スルメイカでは北川漁場が57%(6.1トン)、イサキでは伊豆山漁場が54%(4.5トン)であった。

*平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場				
魚 種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
メアジ	31.2	2.37	5.26	川奈
さば類	29.6	0.83	0.40	北川、伊豆山、川奈
マアジ	15.8	3.55	1.28	伊豆山、古網、北川
スルメイカ	10.6	0.98	0.35	北川
イサキ	8.4	1.93	2.97	伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は、上旬は棒受網、中下旬はたもすくい漁業主体で操業した。漁場は、上旬は三本、中下旬は大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ15.8トン（前年同月比65%）であり、1隻あたり水揚量は2.3トン（前年同月比77%）であった。マサバの水揚げはなかった。平均単価は、428円/kgで前月（251円/kg）、前年同月（218円/kg）を共に大きく上回った。漁獲物の体長組成は、35cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量									
期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7年12月上旬	－	5.9	3	3	－	2.0	－	449	三本
中旬	－	9.0	3	3	－	3.0	－	417	大島千波
下旬	－	0.9	1	1	－	0.9	－	410	大島千波
R7年12月計	－	15.8	7	7	－	2.3	－	428	大島千波、三本
R6年12月計	－	24.4	5	8	－	3.0	－	218	大島千波、利島
R5年12月計	－	79.0	8	14	0.0	5.6	237	216	大島千波

＊水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
＊表中の「－」は水揚げがなかったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

12月の出漁日数は4日、水揚量は54.2トンであった（前年同月の出漁日数は8日、水揚量は138.3トン）。主漁場は大井川沖～榛原沖であった。水揚げされたサクラエビは体長32mmにモードを持つ当歳エビと40mmにモードを持つ1歳エビで構成されていた。
なお、今秋漁は12月18日夜の操業で終漁し、総水揚量は212.3トン、出漁日数は15日であった（昨秋漁の総水揚量は189.0トン、出漁日数は15日）。

サクラエビ水揚量			
期 間	水揚量(トン)	日 数	漁 場
R7年12月上旬	36.2	2	大井川沖～榛原沖
12月中旬	18.1	2	大井川沖～榛原沖
12月下旬	－	0	－
R7年12月計	54.2	4	大井川沖～榛原沖
R6年12月計	138.3	8	大井川沖～榛原沖
R5年12月計	152.4	10	大井川沖～相良沖
R4年12月計	103.3	5	大井川沖～相良沖

＊水揚量については、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が275kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が149kgであった。平均水揚量は207kgで前年同月（87kg）の2.4倍、平年同月（過去5か年平均：151kg）の1.4倍であった。また、総水揚量は250トンで前年同月（40トン）の6.2倍、平年同月（124トン）の2.0倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。平均単価は1,303円/kgで前年同月（2,217円/kg）の59%、平年同月（1,450円/kg）の90%で、前年同月を大きく下回り、平年同月を下回った。
＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

7港のシラス水揚量						
漁 港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新 居	17.7	7	62	286	841
	舞 阪	58.8	7	227	259	937
	福 田	37.3	7	165	226	1,470
	御前崎	40.5	12	108	375	1,222
駿河湾	吉 田	51.7	12	285	181	1,375
	用 宗	39.9	17	265	151	1,868
	由 比	4.1	7	93	44	1,411
R7年12月計		250.0	69	1,205	207	1,303
R6年12月計		40.1	34	463	87	2,217
R5年12月計		254.6	70	1,354	188	1,127

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【まき網（いわし類）】

マイワシ、カタクチイワシは、沼津港、小川港、静浦港、伊東港及び伊豆半島東岸の大型定置網7か統では水揚げがなかった。
＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

12月 2日 ～ 12月 3日	地先定線観測調査	(2日間)
12月 9日 ～ 12月 10日	さば類撒き餌・音響調査	(2日間)
12月 16日	MaOI マイクロプラスチック調査	(1日間)
12月 18日	水質調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

